

平成24年度

地域おこし協力隊 実態調査結果

(平成24年7月1日現在)

地域おこし協力隊 実態調査結果

本調査結果は、平成24年7月1日時点において、自治体が独自に委嘱を行っている地域おこし協力隊の実態等について、実施自治体からの回答を受け、その概要を取りまとめたものです。

調査結果

○隊員数

・地域おこし協力隊員の人数 473人

○実施自治体数

・都道府県 4府県

・市町村 169市町村(42道府県)

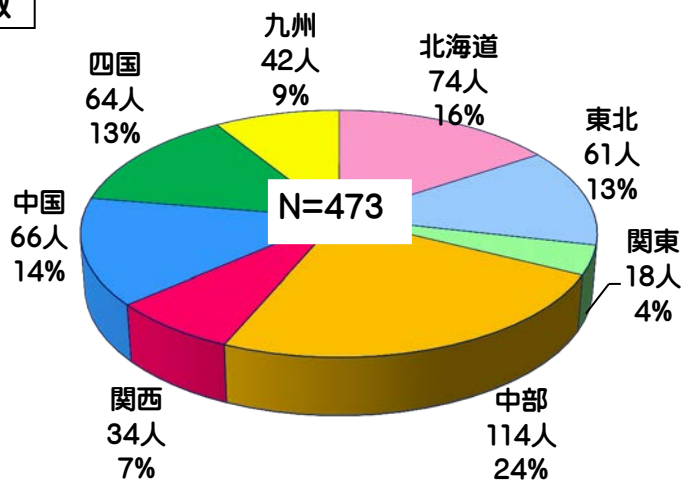
地域おこし協力隊 実態調査結果

① 隊員数

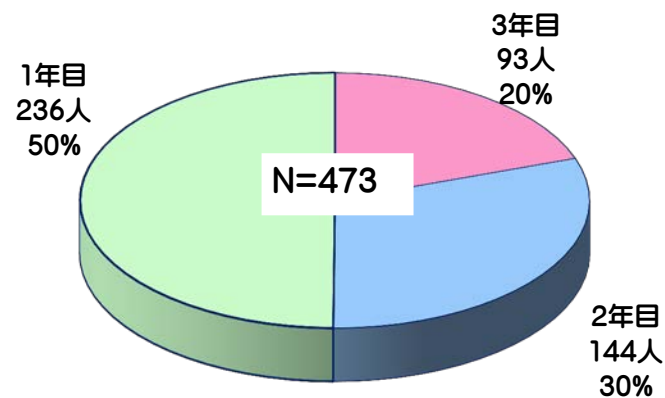
平成24年7月1日時点で、協力隊として活動している人数は473人である。地方別では、中部地方が最も多く、次いで北海道、中国地方と続く。また、活動期間別では、委嘱されて1年満たない隊員が半数を占める。

都道府県 24人(4団体)
 市町村 449人(169団体) ※42道府県 } 473人 173団体

地方別隊員数



活動期間別隊員数



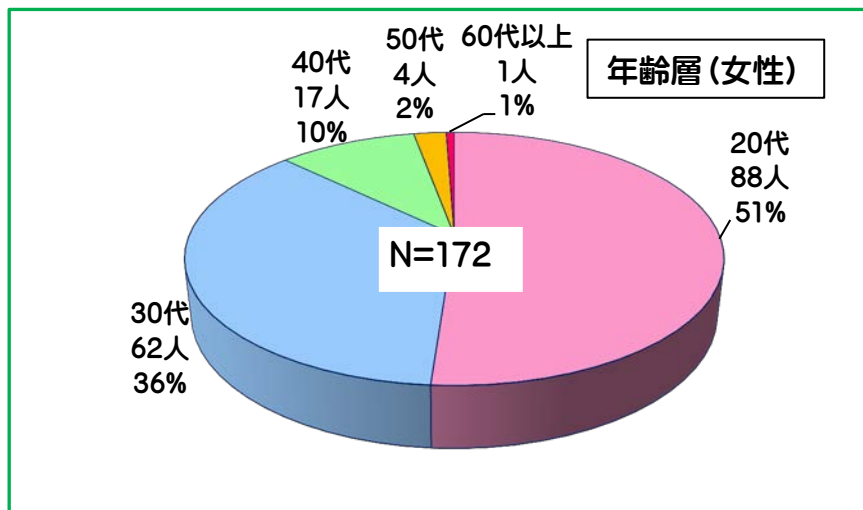
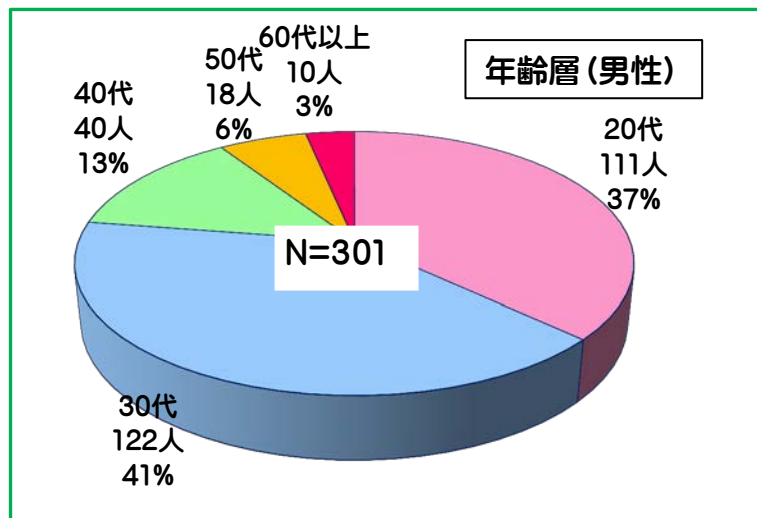
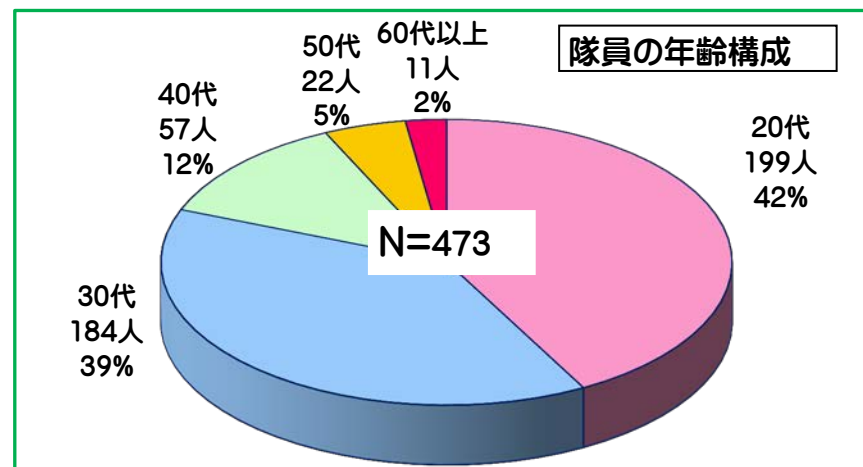
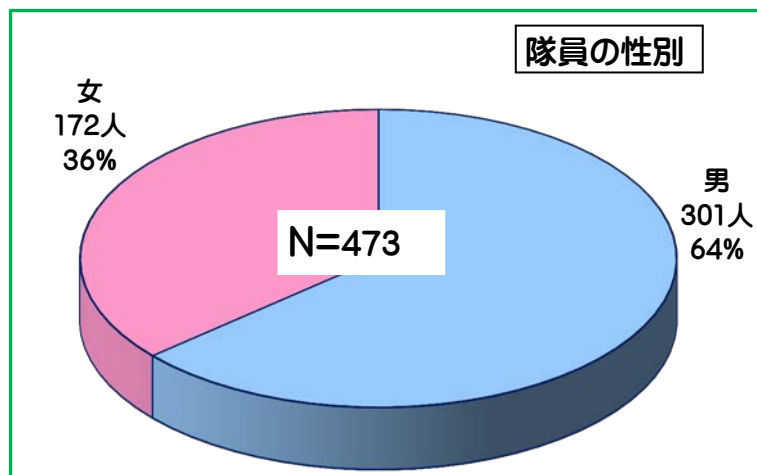
<地方区分>

- 東北地方
 (青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)
- 関東地方
 (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)
- 中部地方
 (新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県)
- 関西地方
 (三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)
- 中国地方
 (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)
- 四国地方
 (徳島県、香川県、愛媛県、高知県)
- 九州・沖縄地方
 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

地域おこし協力隊 実態調査結果

②性別・年齢層

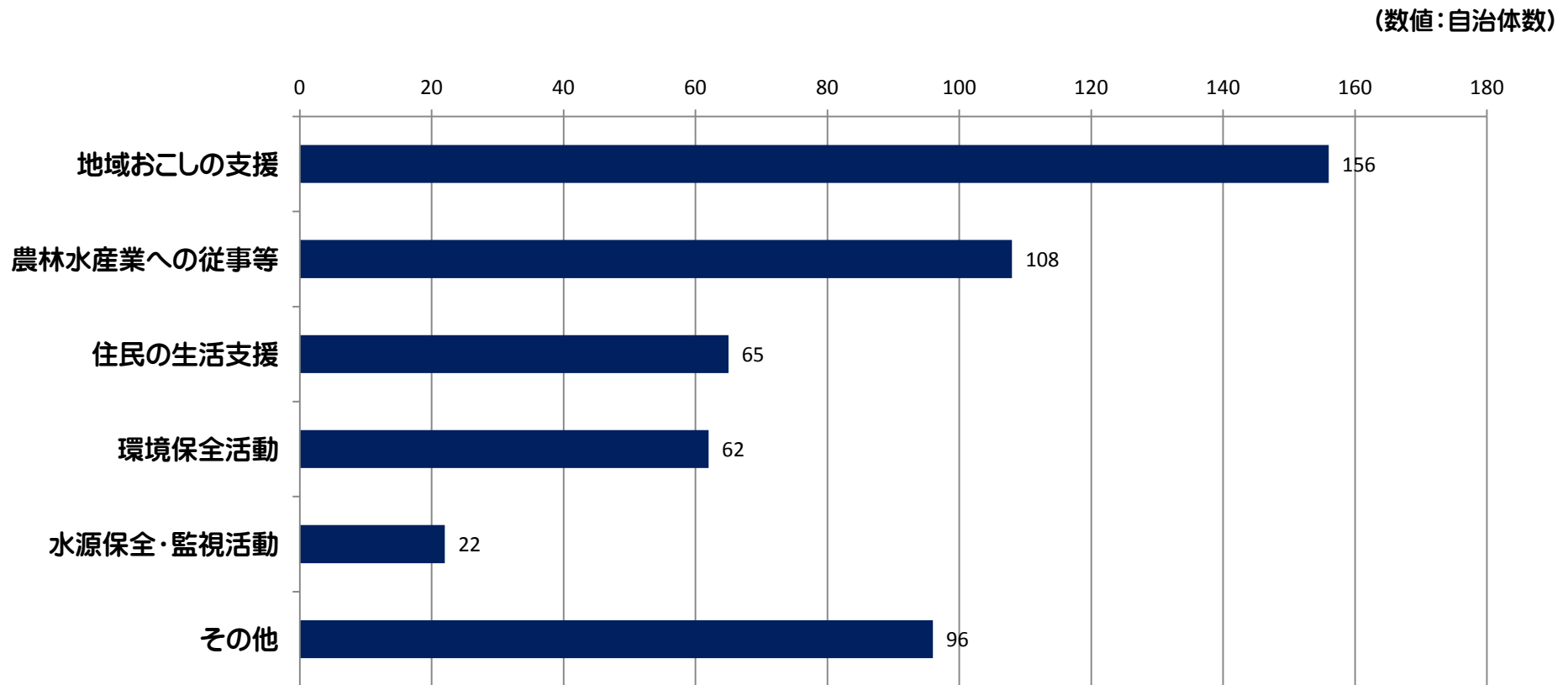
473人中、男性が301人、女性が172人で、男性が約6割を占めている。また、年齢層については、男性は30歳代、女性は20歳代が最も多く、20歳代と30歳代を合わせると全体の約8割を占めている。



地域おこし協力隊 実態調査結果

③地域協力活動の内容 (複数回答あり、全173自治体)

地域協力活動の内容については、「地域おこしの支援」、「農林水産業への従事等」が多い。



地域おこし協力隊 実態調査結果

【地域協力活動の例】

地域おこしの支援

- 地域が主催する行事(祭り、伝統芸能、集会等)への参加・協力
- 自治体HPやブログ、SNS等による地域情報の発信
- 地場製品の販売、その他地産地消推進のための取り組み応援(特産品開発研究・販路拡大、道の駅の企画)
- 都市との交流事業、教育交流事業実施応援(ツーリズム事業、子どもの宿泊体験等の企画運営、ガイドボランティアの育成)
- 集落へ移住者を受け入れる新たな仕組みづくり(移住・交流案内業務)
- 伝統芸能(神楽等)や盆踊りの復活

農林水産業への従事等

- 農作業支援
- 獣害対策
- 土壌改良指導・普及
- 農家と協力した農作業体験実施
- 漁業体験の企画・運営
- 藻場再生事業の応援

住民の生活支援

- 見守りサービス(独居老人宅の訪問、声かけ、見守り支援)
- 通院・買い物等の移動サポート
- 除雪支援
- 健康診査の普及啓発、生活習慣病等の予防

環境保全活動

- 不法投棄パトロール
- 集落共同作業(道普請、草刈り、ゴミ拾い)
- エコツアーの実施
- 野生動物の保護管理、有効活用業務

水源保全・監視活動

- 河川の清掃活動(水路の土砂上げ)
- 水源地の整備・清掃活動(上流域の森林の整備等)
- 農地水環境の保全活動
- 水質調査

その他

- 婚活イベントの企画・運営
- 地域映画祭プロジェクト
- 伝統工芸の研究
- 文化財及び古文書等の調査・研究